



広報

なほ

市民の友

第658号 毎月1回発行
2005年(平成17年)

11月

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎867-0111 ●印刷 光文堂印刷株式会社

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2005(平成17)年9月末現在	
総人口	314,899(1,850)
男	152,292(937)
女	162,607(913)
世帯数	127,363(1,055)
本 庁	92,051
真和志	105,954
首 里	58,367
小 禄	56,677

文化の殿堂に響け歌声



市民会館が開館35周年

1970年に市民・県民に待ち望まれて誕生した那覇市民会館は、今年で開館35周年となります。

当時、沖縄には公会堂と呼ばれる施設はなく、市民会館の誕生は、市民のみならず沖縄県民の大きな喜びの中で迎えられました。

現在も、多くの人に親しまれている那覇市民会館の開館35周年を祝う記念コンサート「市民参加によるレクチャーコンサート・音楽の秘密大公開」が10月16日に行われました。

このコンサートでは、一般公募による30代から70代までの幅広い年齢層の市民のみなさん80余名の市民合唱団が結成され、沖縄県立芸術大学の教官の指導のもと、去る5月から週に1度の練習を重ねてきました。

二部構成のコンサートでは、一部で市民のみなさんがドイツ語の課題曲、ハイドン作曲オラトリオ「天地創造」にどのように挑んだかという練習過程が再現され、これまで秘密になっていた舞台裏が公開されました。二部では、市民合唱団のみなさんが沖縄県立芸術大学の合唱団とオーケストラとともに完成された力強い歌声を披露。会場を埋め尽くした観客から盛大な拍手が送られ、数多(あまた)の芸能・演劇を見守ってきた文化の殿堂に新たな歴史が刻まれました。

アジアの人々と共に生きる
チャリティコンサート開催
市職員の給与・職員数のあらまし
12月から那覇市の
主なごみ出しルールが変わります
情報P.A.C.K.

6 4 3 2
7 5

協働のまちづくり 那覇を紡ぐ

⑦



「wanakio(ワナキオ)」は、「okinawa(オキナワ)」を並べ替えた造語で、地域にすにる素材を、視点を変えることにより新たな価値を見いだしていくという意味が込められている。

「現代アート」というとみなさんはどのようなものをイメージしますか？

今年度、本市は、「アート」の活動を通してまちの活性化を図ることを目的としたNPO法人前島アートセンターと連携し、美術や教育、まちづくりなどさまざまな専門家と実行委員会をつくり、文化庁「文化芸術による創造のまち」支援事業を行っています。

この事業は、地域に根付いた文化活動や団体、人材を育成し、創造的なまちづくりを实践することを目的としており、那覇の魅力が再発見される「まち歩き」、県内や国内外のアーティストと直接意見交換できる「アーティストトーク」、こどもが身近な環境に親しむを持ち、創造的な活動を行う「こどもワークショップ」などを定期的に実施しています。

実行委員会長の宮城潤さんは、「アートは、多様な価値を創造する、現代社会の課題解決に必要不可欠な存在です。しかし、評価しているもの程、よくわからない」と言われてしまうのも事実です。でも、見方を変えると、定義できない柔軟さを持っているからこそ、さまざまな分野、組織をつなぐことができるということでもあります。

「はくわかわない」の魅力

アート展覧会中、まちの中でアート作品に出会った「よくわからない」と言う前に、その背景にある地域の魅力に思いを巡らせてみるのも面白いかもしれません。

農産物の日常をポスターにして展示



本紙は「カラーバリアフリー(色覚障壁の除去)」につとめています。

お気づきの点がありましたらお寄せください。
☎862-9942 秘書広報課

12100 再生紙を使用しています。